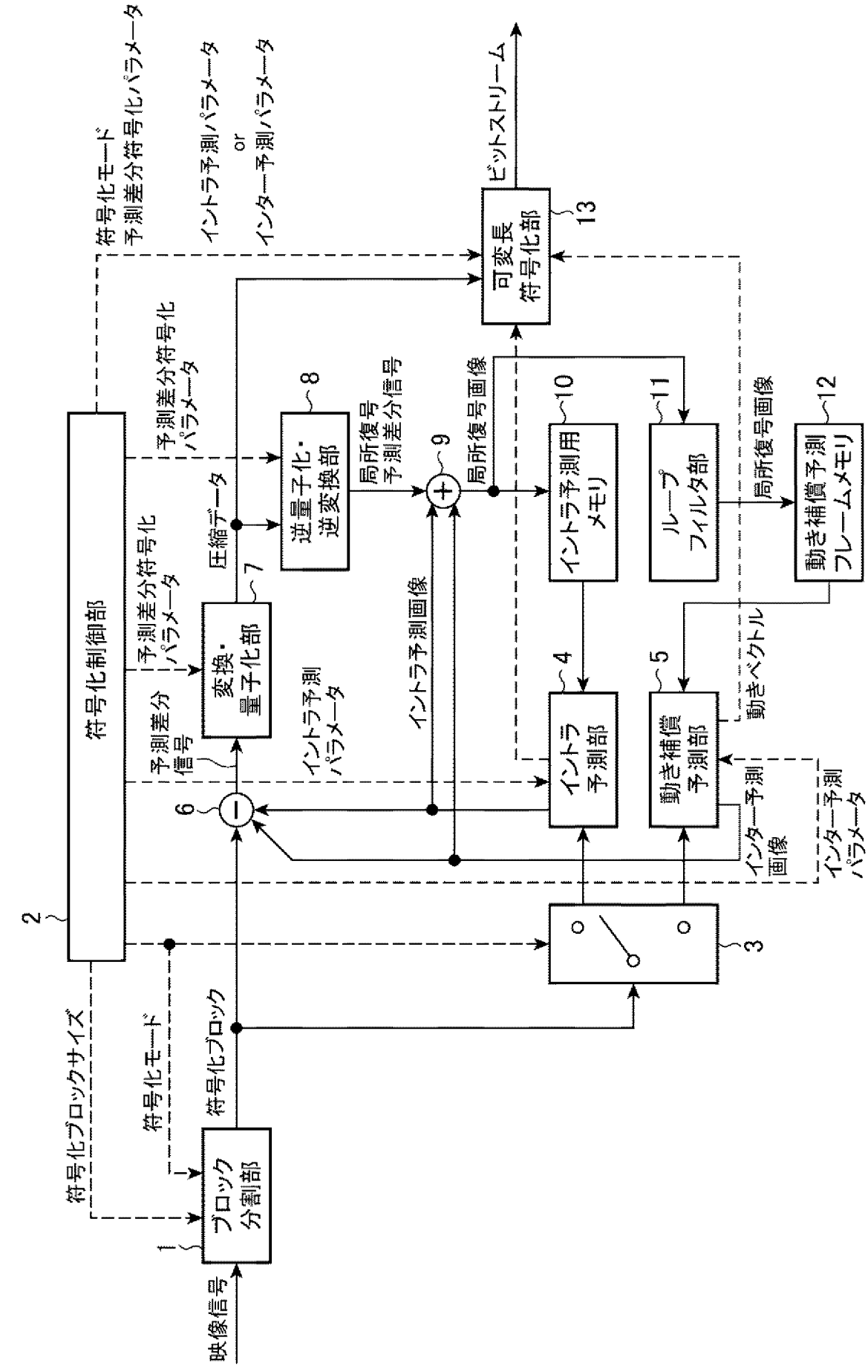
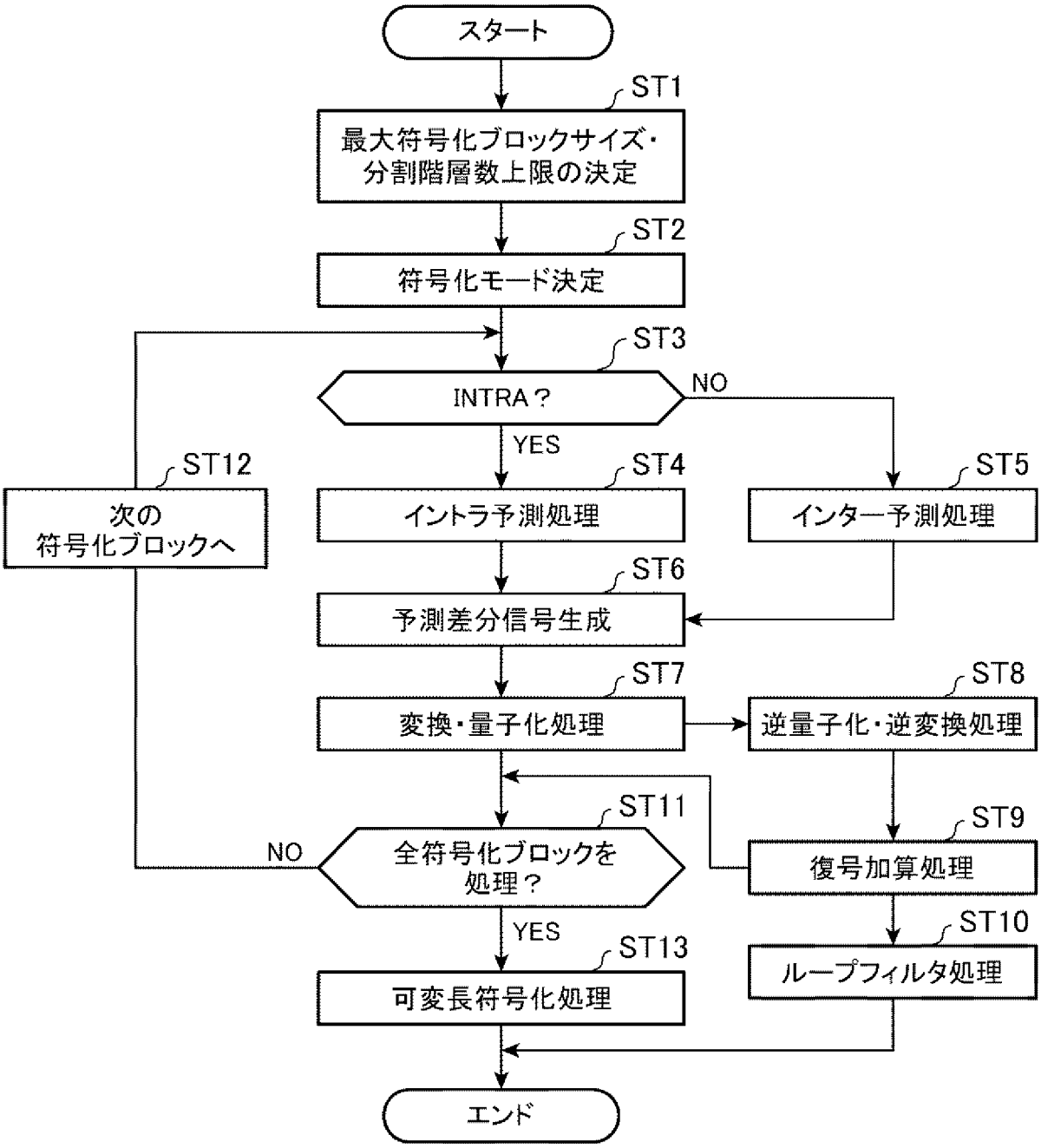
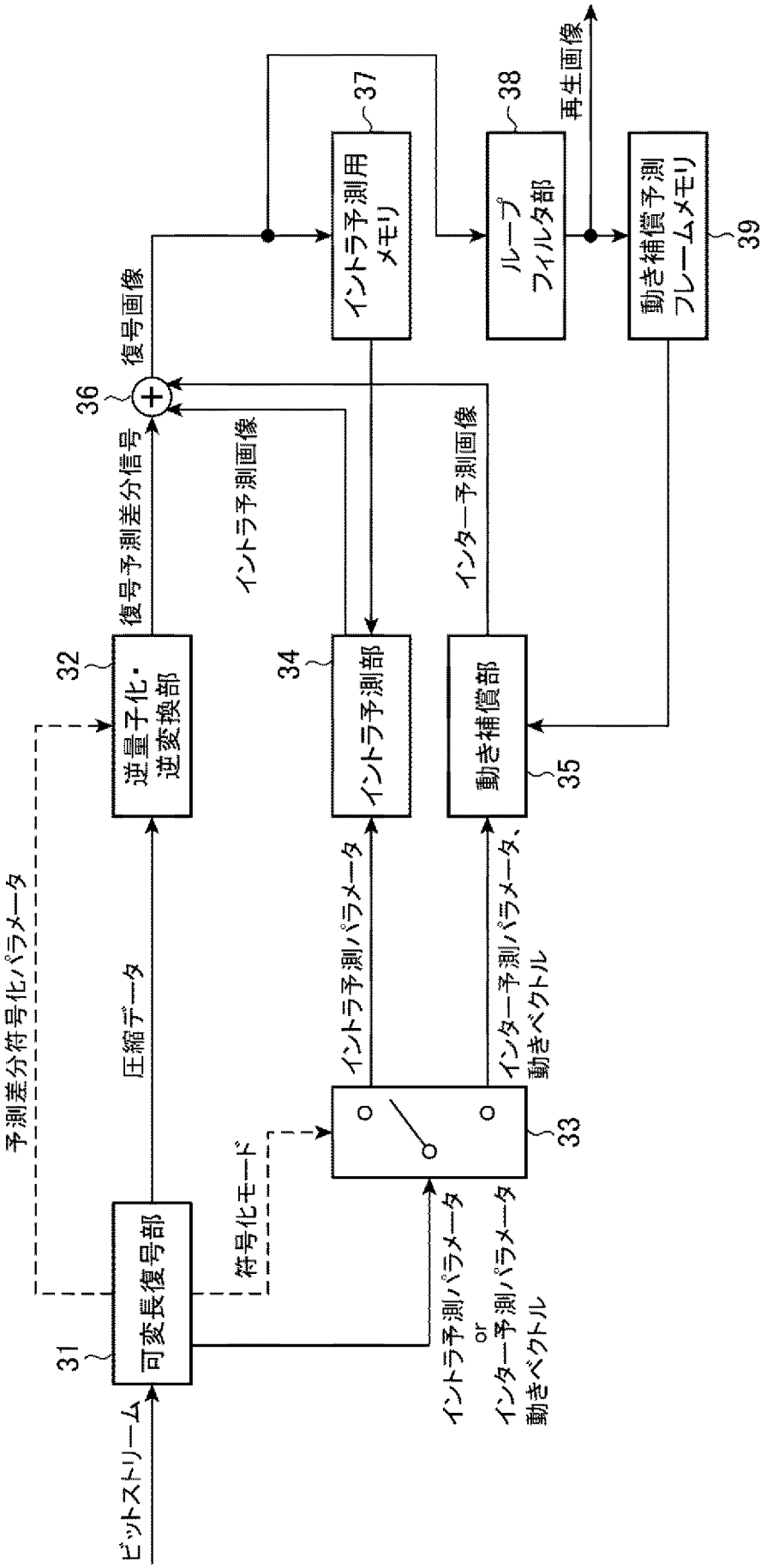
[図1]


映像信号
ブロック分割部
1
符号化ブロック
符号化ブロックサイズ
符号化モード
符号化制御部
2
予測差分符号化パラメータ
イントラ予測パラメータ
or
インター予測パラメータ
符号化モード
予測差分符号化パラメータ
予測差分信号
イントラ予測パラメータ
圧縮データ
変換・量子化部
7
逆量子化・逆変換部
8
局所復号予測差分信号
局所復号画像
イントラ予測画像
イントラ予測用メモリ
10
ループフィルタ部
11
局所復号画像
動き補償予測フレームメモリ
12
ビットストリーム
可変長符号化部
13
6
4
イントラ予測部
5
動き補償予測部
動きベクトル
インター予測画像
インター予測パラメータ
3

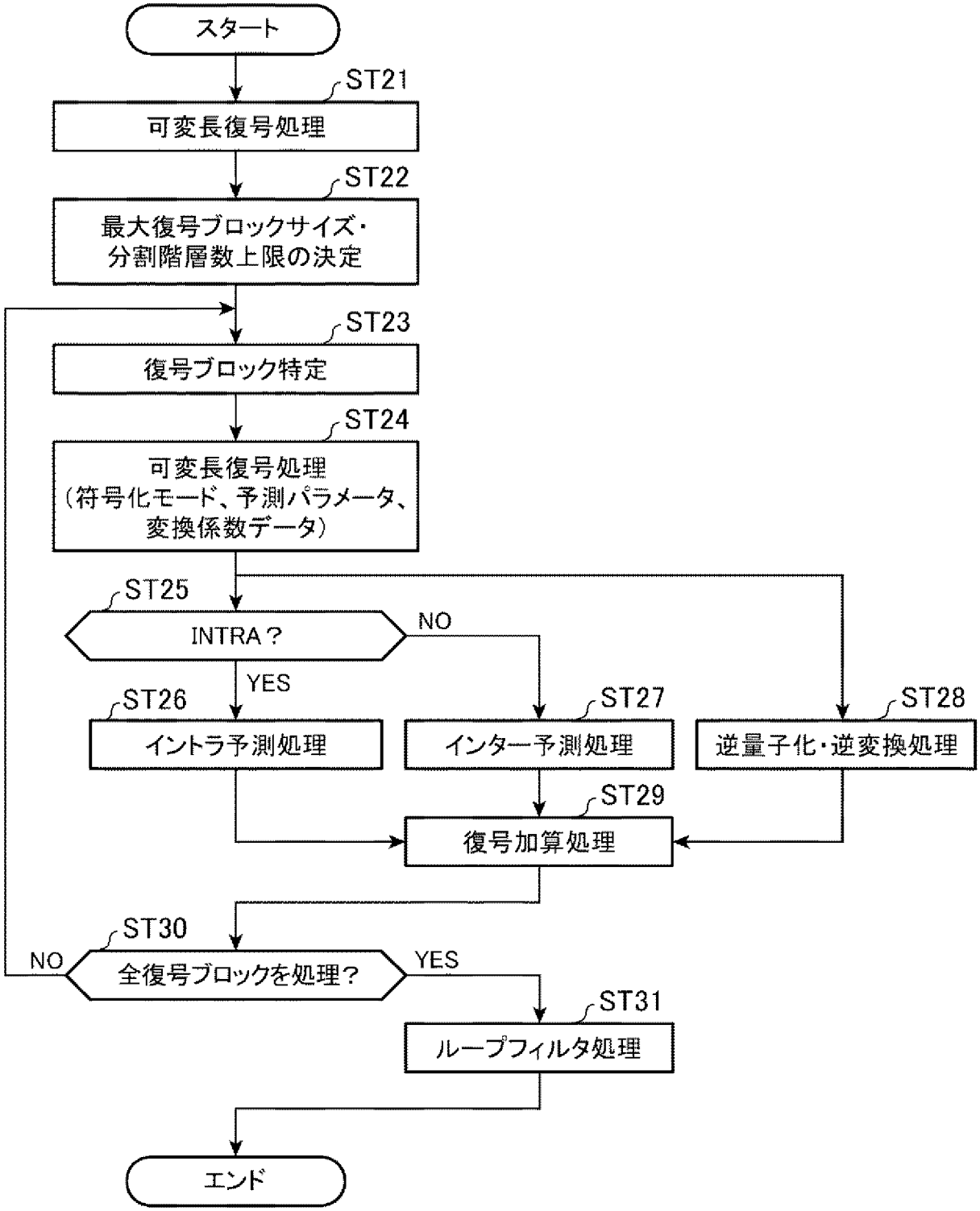
[図2]


スタート
ST1
最大符号化ブロックサイズ・
分割階層数上限の決定
ST2
符号化モード決定
ST3
INTRA？
NO
YES
ST12
次の
符号化ブロックへ
ST4
イントラ予測処理
ST5
インター予測処理
ST6
予測差分信号生成
ST7
変換・量子化処理
ST8
逆量子化・逆変換処理
ST11
NO
全符号化ブロックを
処理？
ST9
復号加算処理
YES
ST10
ループフィルタ処理
ST13
可変長符号化処理
エンド

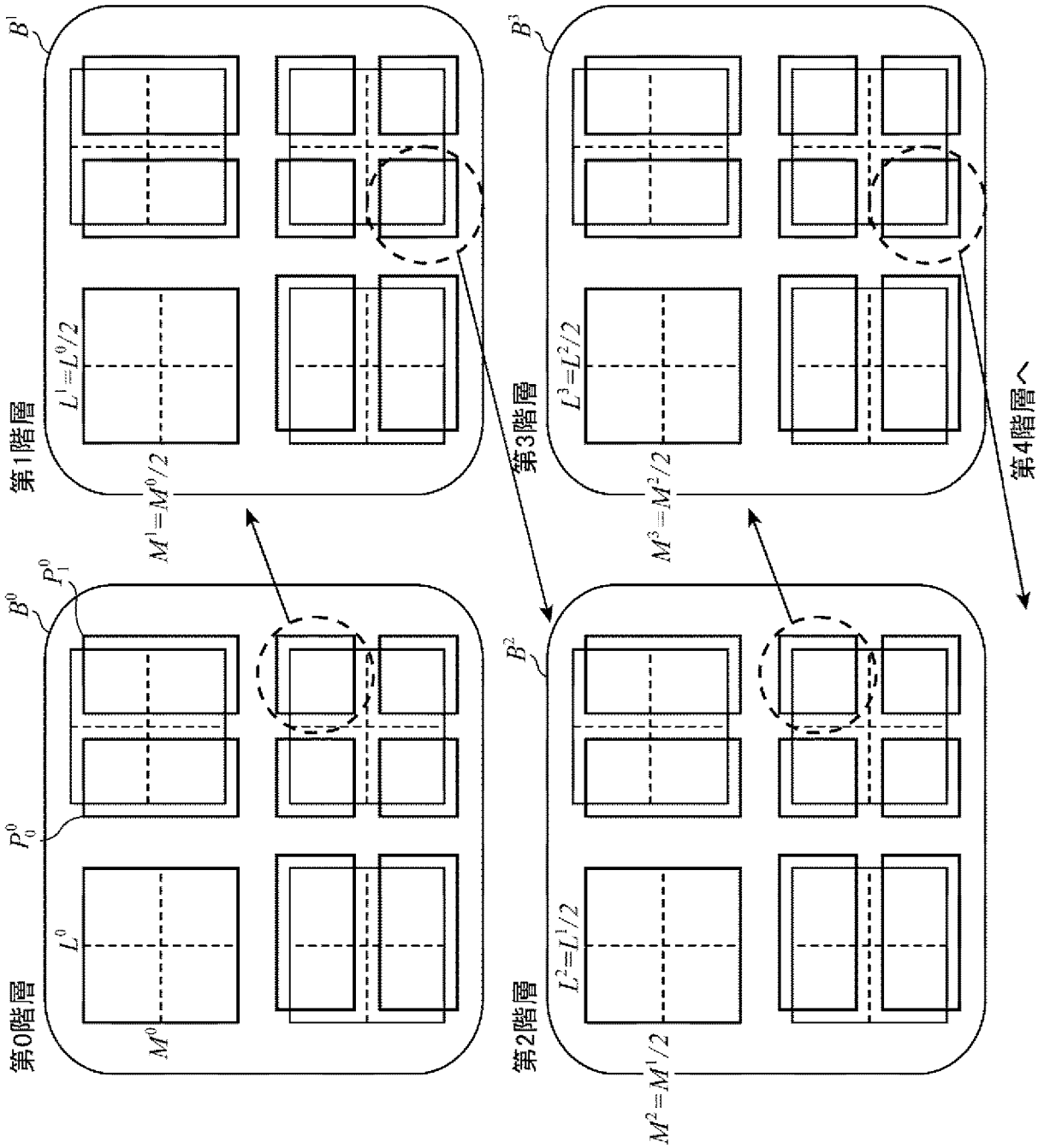
[図3]


ビットストリーム
31
可変長復号部
予測差分符号化パラメータ
圧縮データ
符号化モード
32
逆量子化・逆変換部
復号予測差分信号
36
復号画像
イントラ予測パラメータ
or
インター予測パラメータ
動きベクトル
33
イントラ予測パラメータ
34
イントラ予測部
イントラ予測画像
インター予測パラメータ、
動きベクトル
35
動き補償部
インター予測画像
イントラ予測用メモリ
37
ループフィルタ部
38
再生画像
動き補償予測フレームメモリ
39

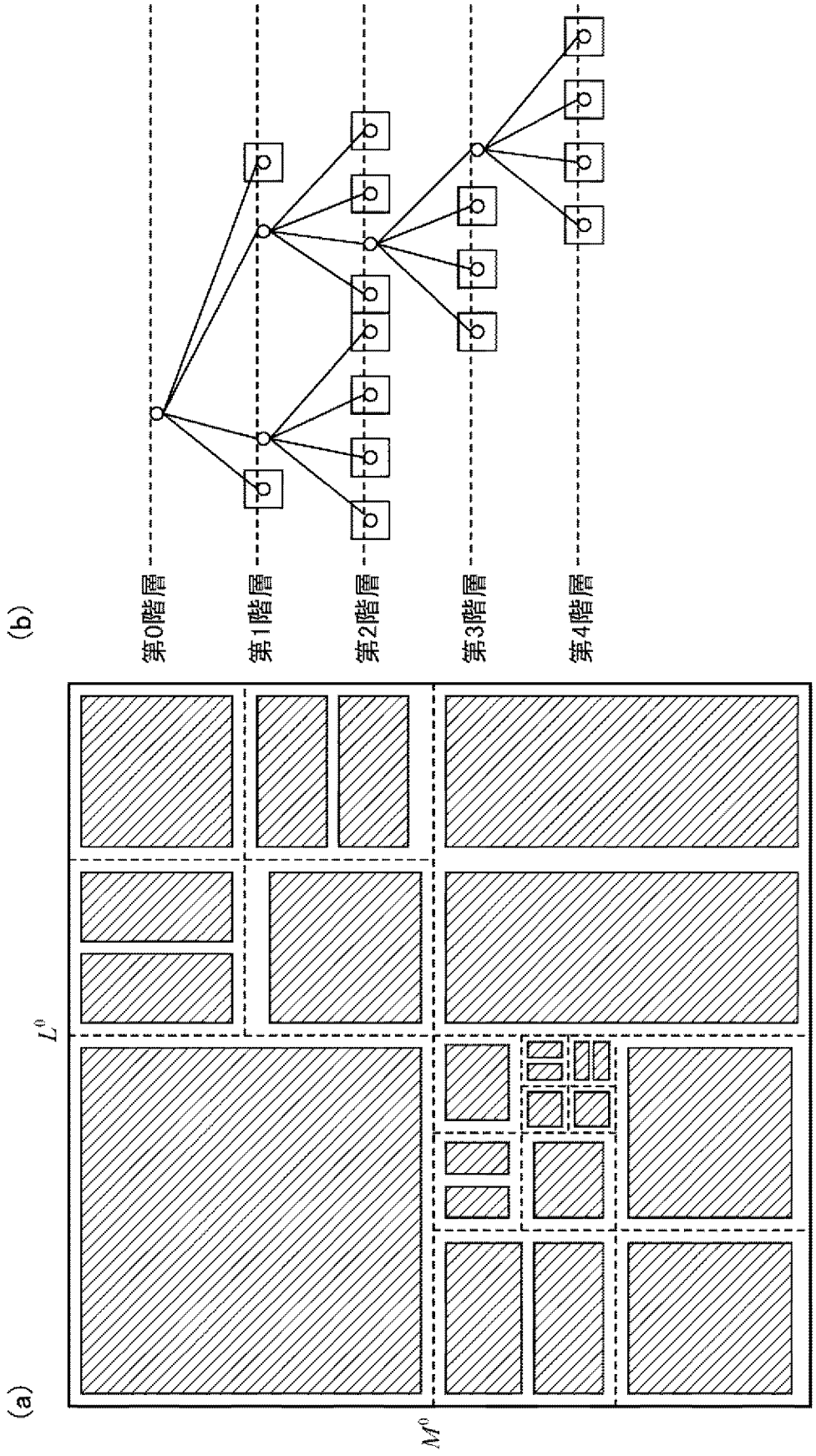
[図4]


スタート
ST21
可変長復号処理
ST22
最大復号ブロックサイズ・
分割階層数上限の決定
ST23
復号ブロック特定
ST24
可変長復号処理
（符号化モード、予測パラメータ、
変換係数データ）
ST25
INTRA？
NO
YES
ST26
イントラ予測処理
ST27
インター予測処理
ST28
逆量子化・逆変換処理
ST29
復号加算処理
ST30
NO
全復号ブロックを処理？
YES
ST31
ループフィルタ処理
エンド

[図5]


第0階層
第1階層
第2階層
第3階層
第4階層へ
B^0
P_0^0
P_1^0
L^0
M^0
B^1
$L^1=L^0/2$
$M^1=M^0/2$
B^2
$L^2=L^1/2$
$M^2=M^1/2$
B^3
$L^3=L^2/2$
$M^3=M^2/2$

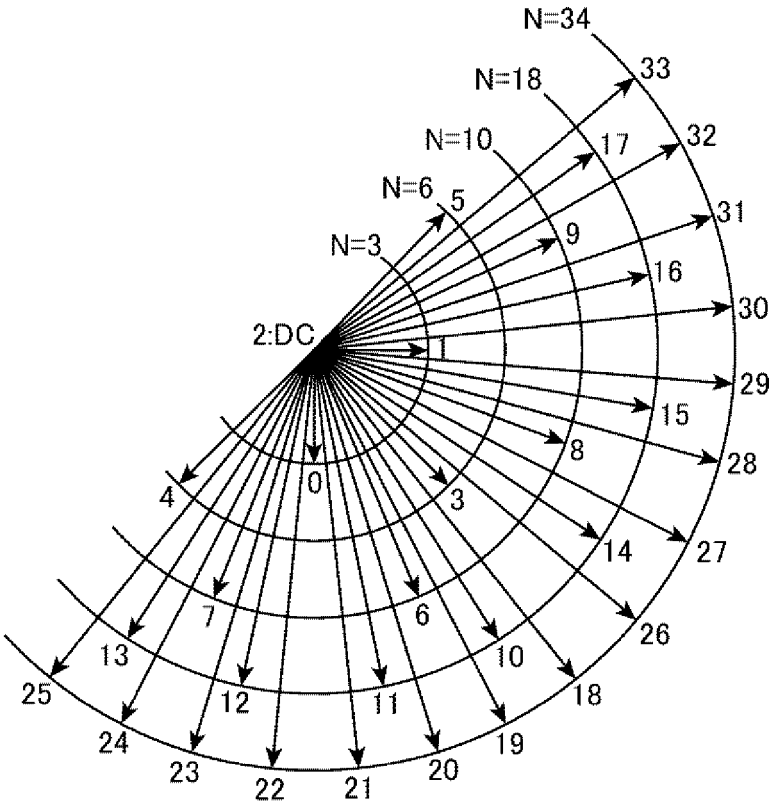
[図6]



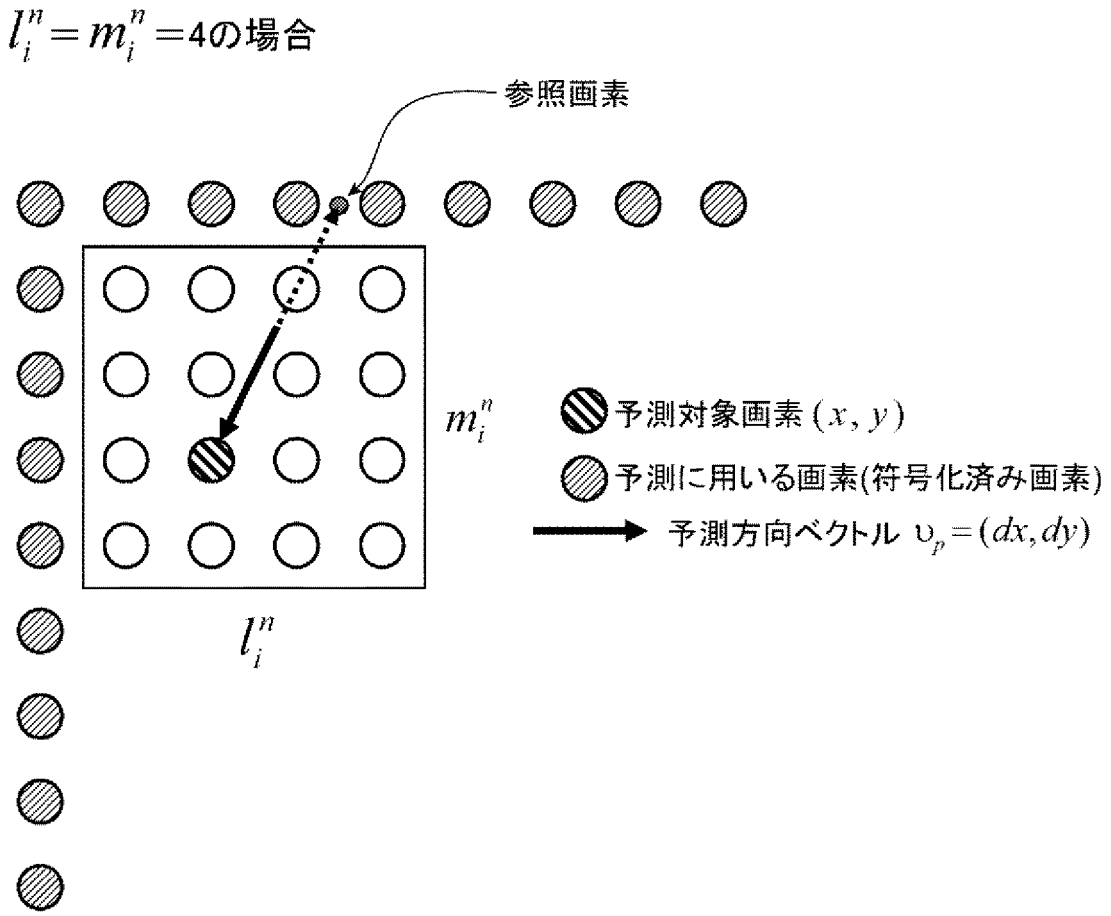
[図7]

イントラ予測モードインデックス	イントラ予測モード
0	垂直方向予測
1	水平方向予測
2	平均値(DC)予測
3～N-1	斜め方向予測

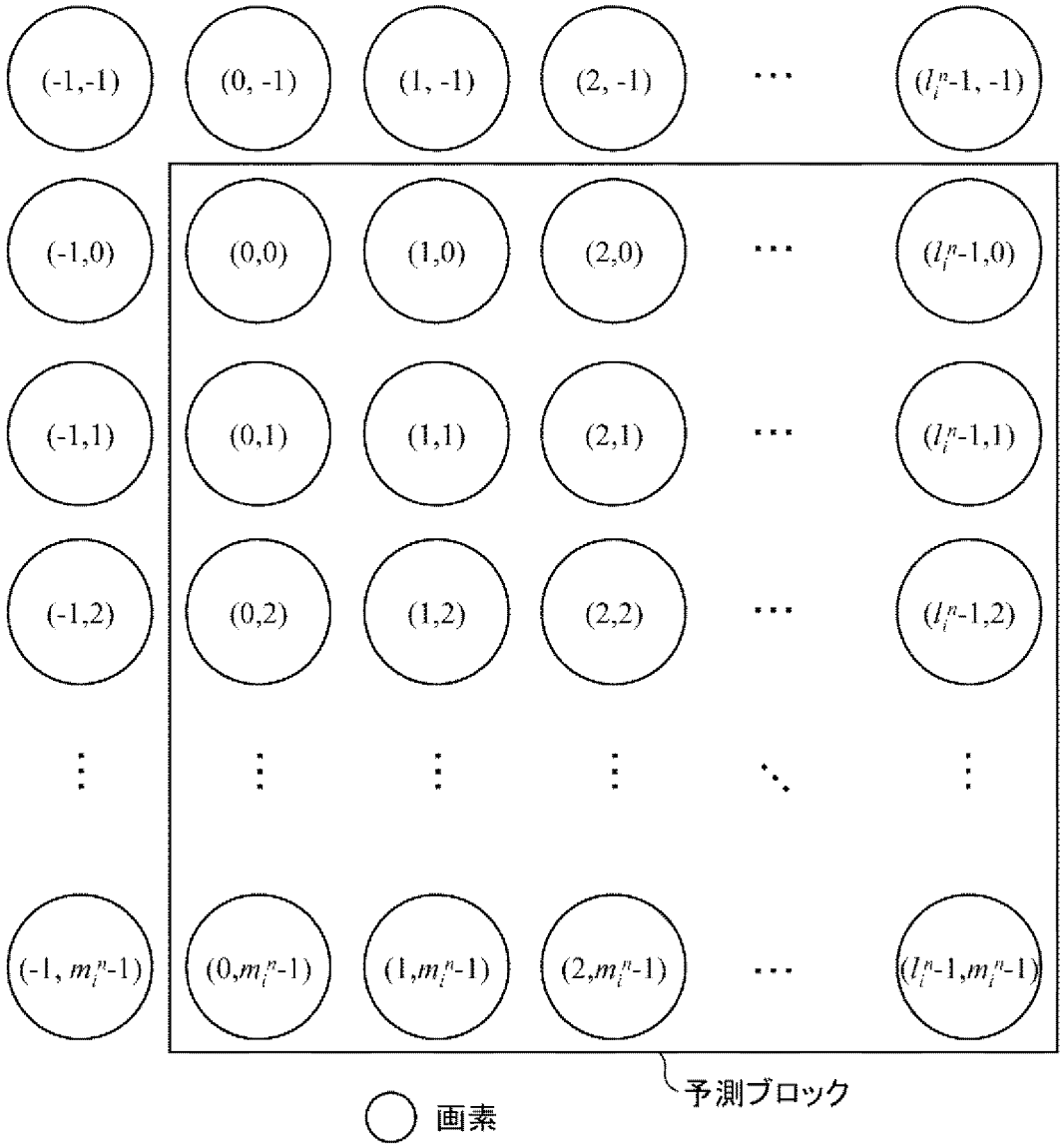
N:イントラ予測モード数



[図8]

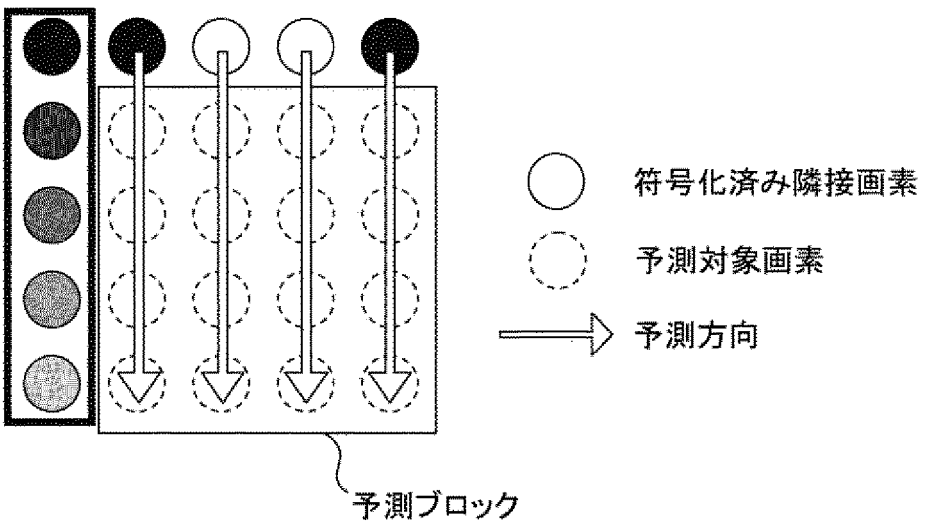

$l_i^n = m_i^n = 4$の場合
参照画素
m_i^n
l_i^n
予測対象画素 (x, y)
予測に用いる画素(符号化済み画素)
予測方向ベクトル $\upsilon_p = (dx, dy)$

[図9]



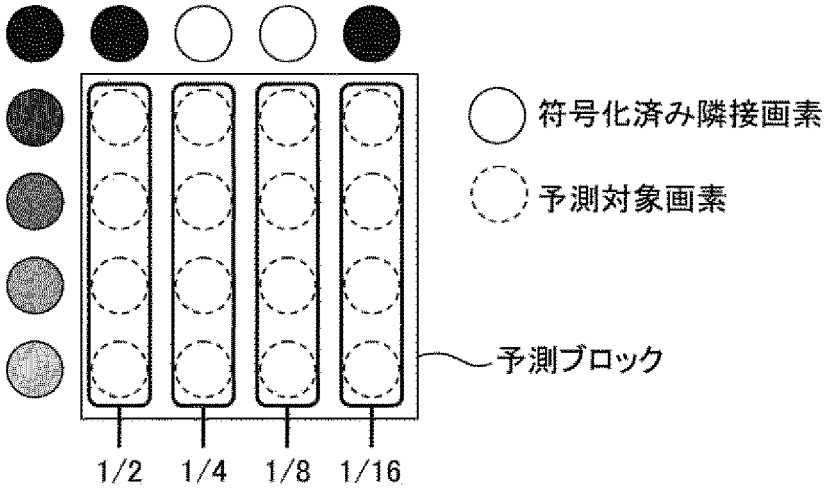
[図10]

$l_i^n = m_i^n = 4$の場合



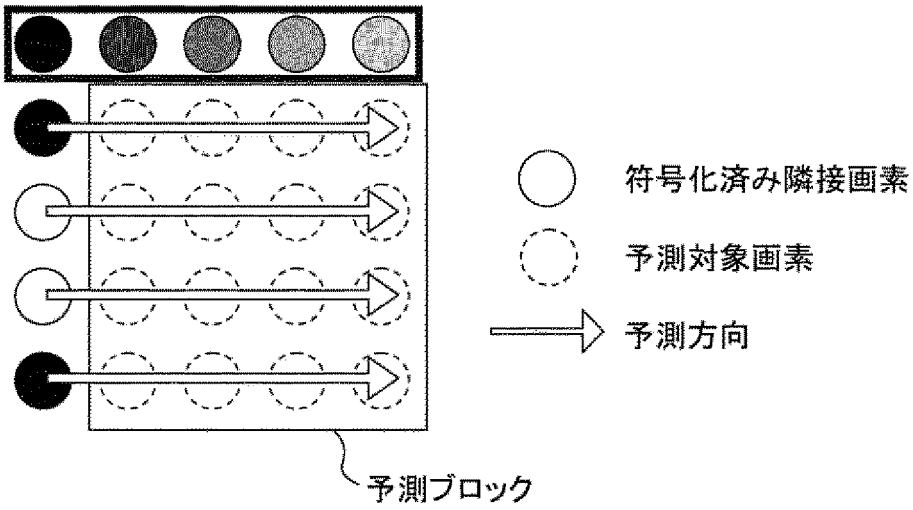
[図11]

$l_i^n = m_i^n = 4$の場合



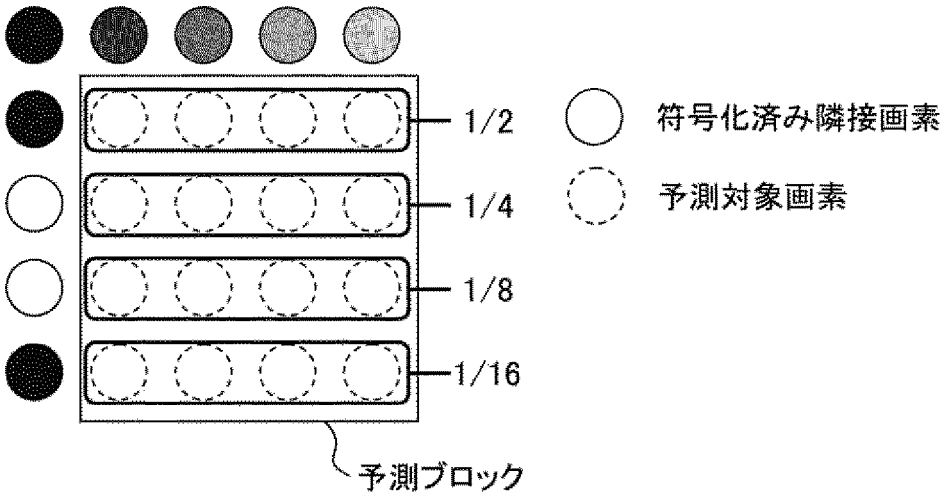
[図12]

$l_i^n = m_i^n = 4$の場合

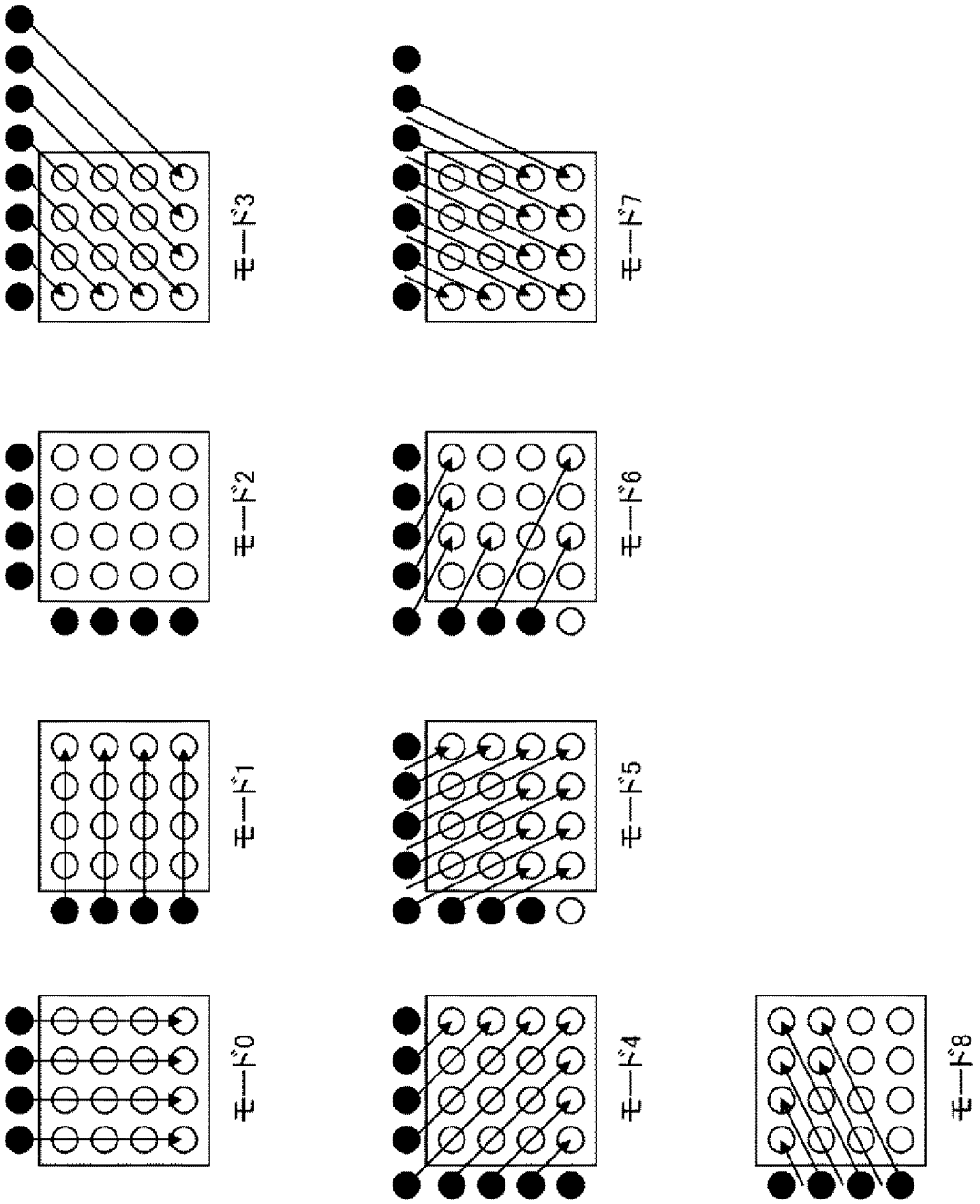


[図13]

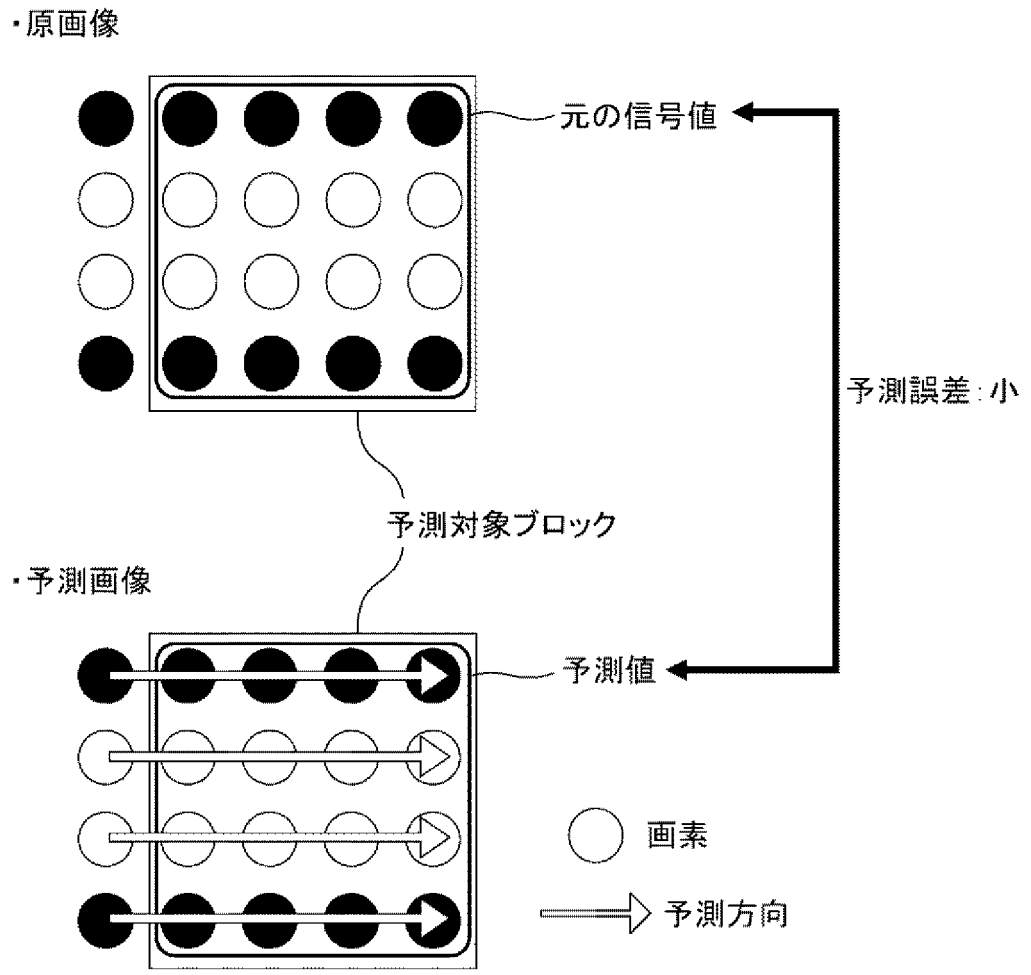
$l_i^n = m_i^n = 4$の場合



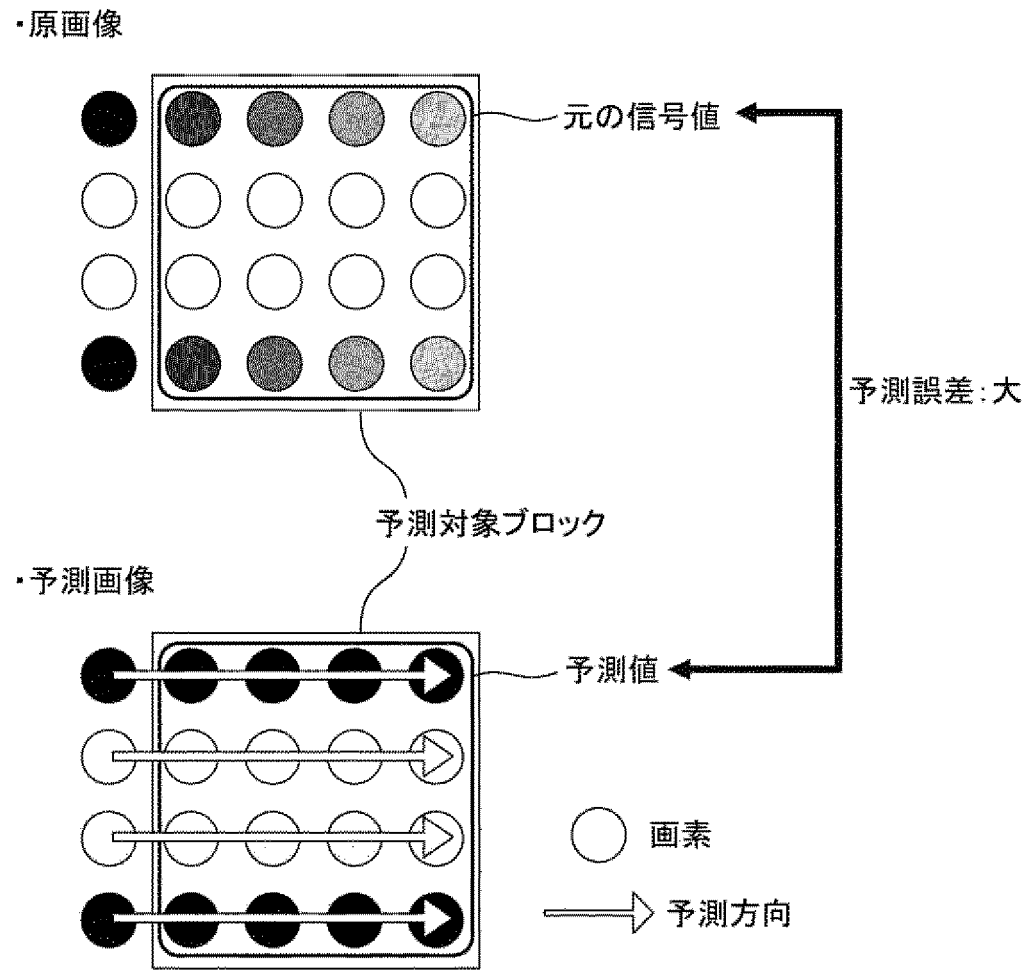
[図14]



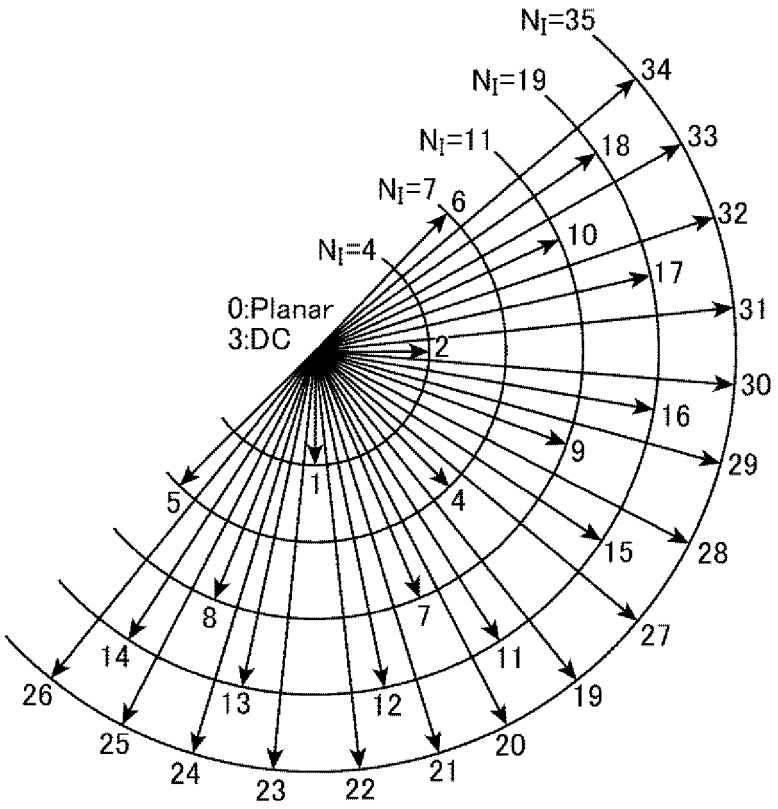
[図15]



[図16]



[図17]

イントラ予測モードインデックス	イントラ予測モード
0	平面(Planar)予測
1	垂直方向予測
2	水平方向予測
3	平均値(DC)予測
4～N_I−1	斜め方向予測

N_I:イントラ予測モード数